あなたの声をお聞かせください（ご協力のお願い）

庄原市民会館のあり方に関する市民アンケート

日頃より、市政運営に対しまして、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

本市の中心市街地には、市役所本庁舎をはじめ、多様な公共施設が所在しており、これらの中には老朽化に加え、建設当時の機能が現在の利用者ニーズに十分に対応できていないものもあります。

また、公共施設が分散しているなどの課題もあり、将来の市街地における機能強化や公共施設の最適な配置などを含め、総合的な検討が求められています。

その中でも、最も大規模な施設である「**庄原市民会館**」については、

〇昭和 52 年に市民文化の向上及び住民福祉の向上のため建設したもので、芸術・文化活動の拠点として大勢の市民の皆様に利用されている。
〇築後 40 年が経過した現在まで大規模改修を行っていないため、座席、空調、トイレなど、利用者ニーズに対応できていない部分がある。
〇指定避難所としているが、昭和 56 年 6 月 1 日以前建築の建物のため、新耐震基準を満たしていない。
〇設備等の老朽化は進んでいるが、一部補強工事（事業費約 1,000 万円程度）や修繕工事を実施すれば、設備等は更新でき、新耐震基準を満たすことができる。

といった現状があります。

つきましては、この「**庄原市民会館**」の今後のあり方検討の参考とするため、市民の皆様のご意見をお聞きするアンケート調査を実施することとしました。

このアンケート調査は、本市に住民登録を有する満18歳以上の方（平成29年11月30日現在）の中から、無作為に抽出した2,000名を対象とするもので、あなたがその対象者に選ばれました。

皆様からいただきます回答は無記名としており、調査結果は統計的に処理しますので、回答者にご迷惑をおかけすることはありません。

ご多用のところ恐れ入りますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年1月

庄原市長　木山 耕三

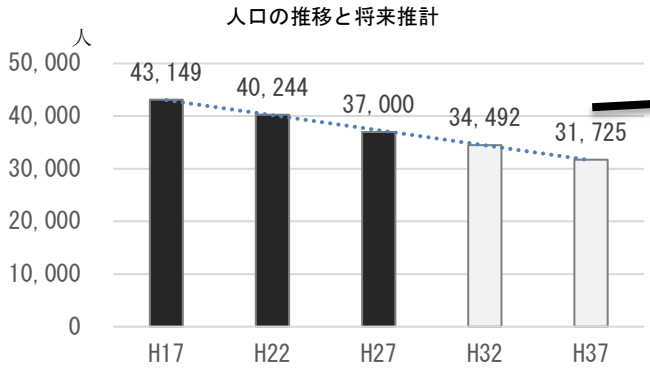
〔お問い合わせ先〕　庄原市　企画振興部　企画振興課　企画調整係
電話：0824-73-1128　　FAX：0824-72-3322

※今回のアンケートを実施するにあたりましては、庄原市の現状及び将来推計などをお示しすることで、現状等をご理解いただき、ご回答の参考にしていただきたいと思っております。

下記に記載しております、1～4 の内容をお読みいただき、アンケートにご回答いただきますようお願いいたします。

1. 人口推移

本市の人口は、合併時の平成 17 年の約 4 万 3 千人が、平成 27 年には 3 万 7 千人となり、10 年間で約 6 千人減少しています。今後も人口減少が推計される中、第 2 期庄原市長期総合計画に掲げる平成 37 年の目標人口は、推計人口に約 3 %をプラスした 3 万 2 千 700 人以上と設定し、その目標達成に向け、各種施策に取り組んでいます。



平成 37 年の目標人口

32,700 人

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成 25 年 3 月推計）

2. 財政状況

（1） 借入金

本市の借入金残高（地方債残高）は、合併当初の平成 17 年度に約 763 億円ありましたが、財政健全化の取り組みにより、平成 28 年度では約 525 億円となり、238 億円を削減してまいりました。

しかし、市民一人あたりの借入金残高（地方債残高）は 106 万円で、他の自治体と比較すると、県内市では最も高く、全国の市の中でも 10 位となっています。

広島県内の人口 1 人当たりの地方債残高（単位：千円）

順位が高いほど、市民一人当たりの借入金が多い

県内順位	全国順位	市名	金額	県内順位	全国順位	市名	金額
1 位	**10**	**庄原市**	**1,062**	8 位	164	府中市	622
2 位	14	安芸高田市	1,034	9 位	199	呉市	586
3 位	19	三次市	985	10 位	305	尾道市	490
4 位	50	広島市	838	11 位	313	廿日市市	485
5 位	81	大竹市	754	12 位	377	竹原市	444
6 位	113	江田島市	697	13 位	385	東広島市	440
7 位	156	三原市	629	14 位	587	福山市	316

出典：総務省市町村別決算状況調「平成 27 年度市町村別決算状況調」

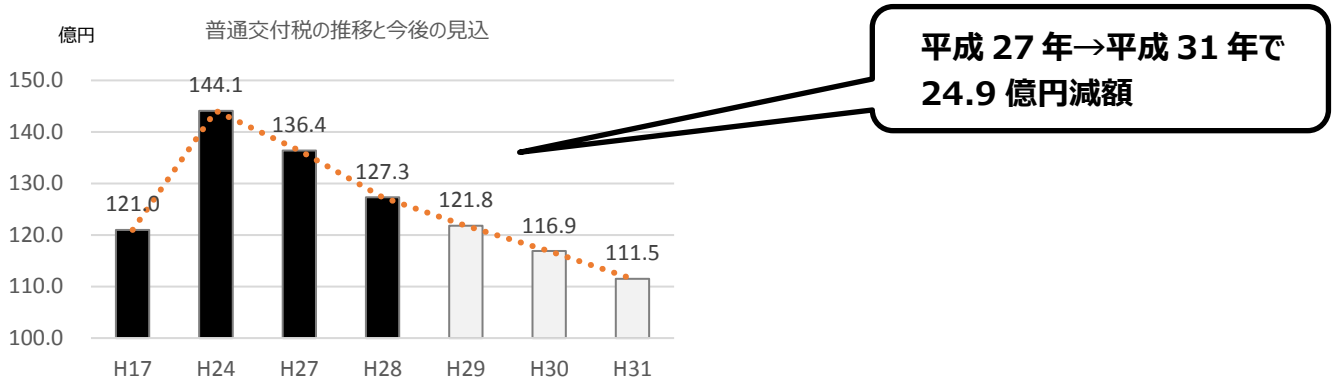
（2）　今後の推計

国から交付される財源（普通交付税）は、平成 27 年度に約 136.4 億円だったものが、合併の特例措置が段階的に縮減されるなどの理由により、平成 31 年度には約 111.5 億円となり、24.9 億円が減額される見通しです。

このことにより、本市の収入（歳入）は減額となることが確実であり、市の支出（歳出）を抑制しなければ、市の貯金（基金）を取り崩しても、収支バランスが崩れ、大幅な財源不足におちいることが予想されます。

このような状況を解決するため、平成 29 年 11 月に「第 2 期持続可能な財政運営プラン」を策定し、安定的な行政サービスの提供に努めることとしています。

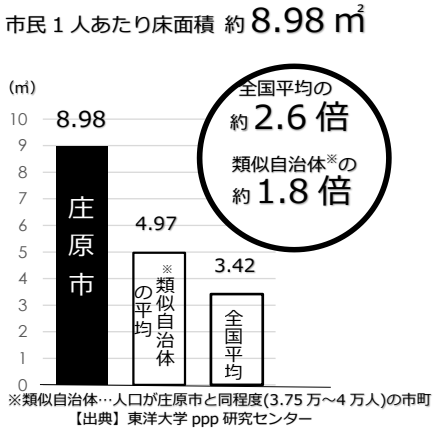
※普通交付税とは…国が毎年、全国自治体の行政サービスに極端な差が出ないよう、地方自治体に配分するお金のこと



出典：「平成 28 年度庄原市財政計画」

3. 本市の公共施設の状況

現在、庄原市全体では、約600の公共建物があり、その床面積は約37万㎡（マツダスタジアムのグラウンド面積の約30倍）あります。市民一人あたりの床面積は、約8.98㎡で、全国の自治体平均の約2.6倍、人口が同じくらいの市町村の約1.8倍あります。これらの施設すべてを維持すると仮定した場合、今後40年間で総額1,250億円必要となり、平均すると毎年約31億円必要と試算されています。



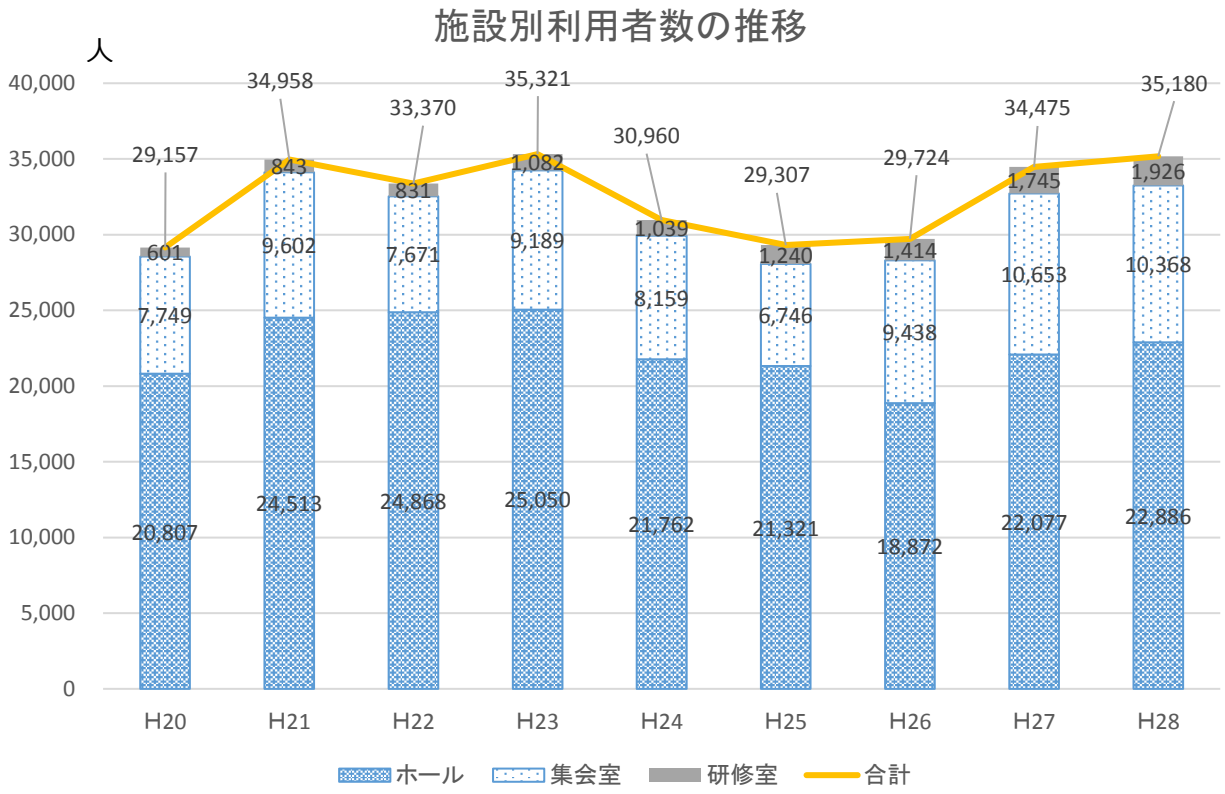
出典：「庄原市公共施設等総合管理計画」

こうした状況に対応するため、平成 27 年度に「**庄原市公共施設等総合管理計画**」を策定し、公共建物の総延床面積を平成 47 年度までに 25%（約 9.4 万㎡）縮減する目標を設定し、目標達成に向け、今後個別計画を策定することとしています。

【裏面へ続く】

4.市民会館の状況

（1）施設別の利用状況



※ 多くの方々に利用していただいており、近年増加傾向にあります。

（2）施設別の利用率

		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
年間開館日数Ⓐ		357 日	358 日	357 日
ホール	利用日数Ⓑ	64 日	81 日	87 日
	利用率Ⓑ/Ⓐ	17.9%	22.6%	24.4%
ロビー	利用日数Ⓒ	1 日	7 日	3 日
	利用率Ⓒ/Ⓐ	0.3%	2.0%	0.8%
集会室	利用日数Ⓓ	280 日	299 日	317 日
	利用率Ⓓ/Ⓐ	78.4%	83.5%	88.8%
研修室	利用日数Ⓔ	147 日	190 日	200 日
	利用率Ⓔ/Ⓐ	41.2%	53.1%	56.0%

※ 集会室の利用率は、過去3年の平均で83.6%と特に高く、続いて研修室の割合が高くなっています。

※ ロビー単独での利用率は高くありませんが、大規模なイベント時には、ホールと同時に大勢の方に利用されています。

（3）公共施設等総合管理計画の策定時に実施した市民アンケートでは、市民会館について、以下のような結果が出ています。

問6：**あなたが特に重要（今後残していくべき）と思われる施設は何ですか**
第 1 位：自治振興施設（443 名・36.6%）
第 2 位：**市民会館**（381 名・31.5%）
第 3 位：農業振興施設（361 名・29.8%）
第 4 位：高齢者福祉施設（356 名・29.4%）
第 5 位：図書館（331 名・27.3%）
以下省略

出典：「庄原市公共施設等総合管理計画」

（4）平成 29 年度の主な行事

内　　容	開催月	参加者（人）
本物の舞台体験事業	6 月	674
映画上映会「君の名は。」	7 月	532
戦没者追悼式並びに平和祈念式典	8 月	700
教育フォーラム	10 月	600
こどもミュージカル（昼・夜 2 回）	10 月	1,000
庄原市内中学校合唱コンクール	11 月	800
吉田正記念オーケストラコンサート	11 月	730
しょうばらフェスタ（庄原空市共催）	12 月	1,047

その他：敬老会・人権講演会・成人式・介護予防講座・グランプリコンサートなど

（5）過去 3 年間の主な経費

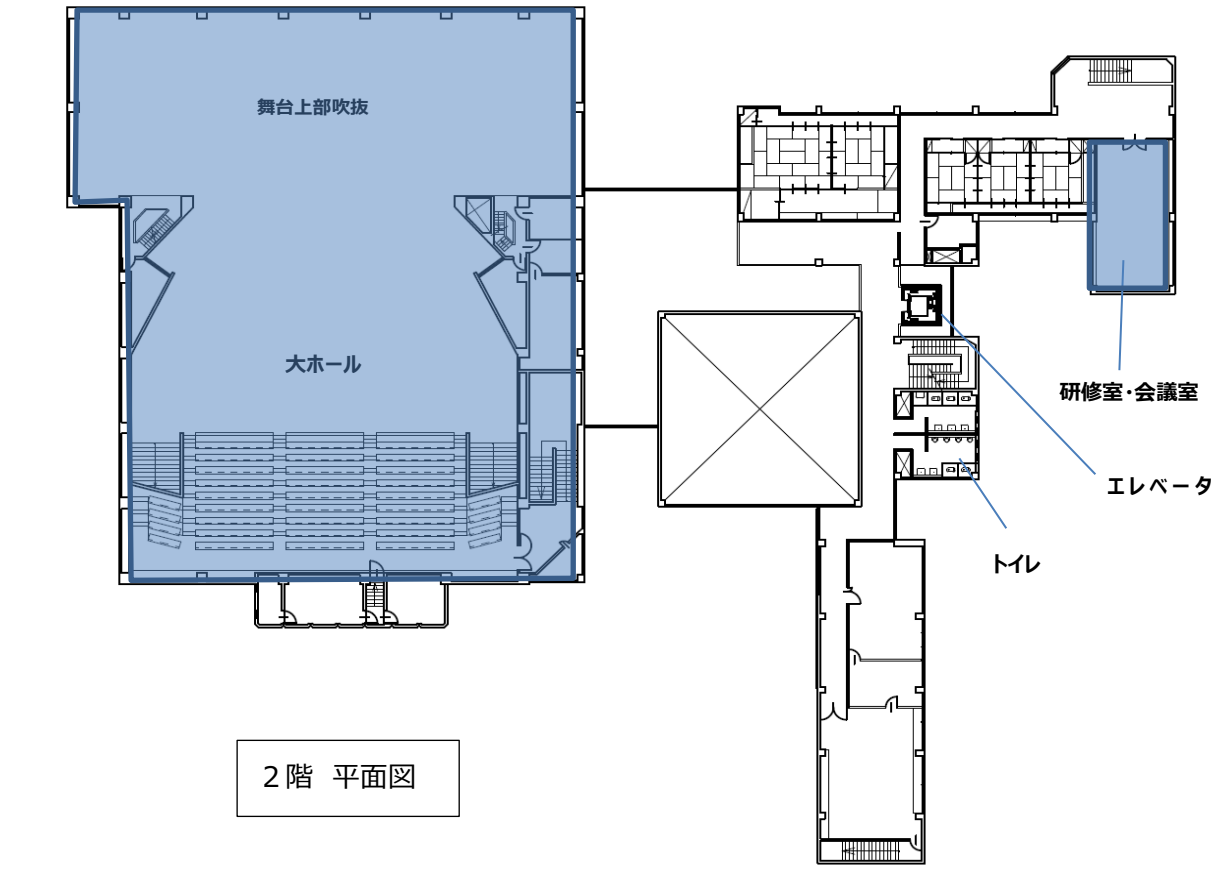
年　度	運営経費（指定管理料）	施設修繕費ほか
平成 26 年度	3,468 万円	969 万円
平成 27 年度	3,522 万円	888 万円
平成 28 年度	3,421 万円	405 万円

（6）近年の主な施設整備の内容

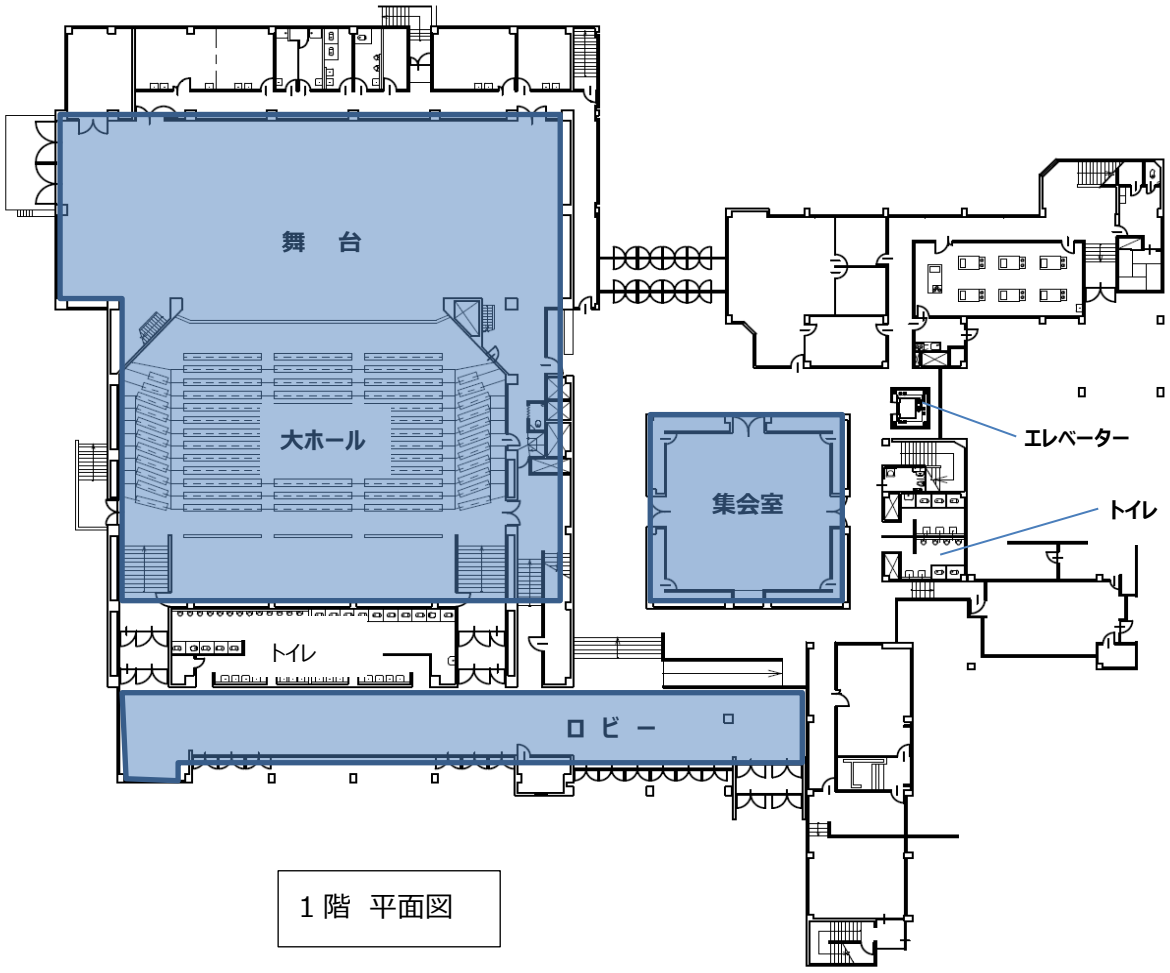
年　度	主な整備の内容	金　　額
平成 21 年度	多機能トイレ設置工事	350 万円
平成 24～25 年度	駐車場整備	1 億 8,716 万円
平成 26 年度	エレベーター設置	3,051 万円

【裏面へ続く】

市民会館・庄原自治振興センター平面図



２階　平面図



１階　平面図